

エコ新聞

28年 3月 24日(木)
発行 児童会 環境委員会
安行子どもエコクラブ

オランウータン募金 ご協力ありがとうございました 40777円あつまりました！ この募金で畳(たたみ)200枚分の土地を買いあげ、森を増やすことができます

3月18日(金) オランウータン募金へのご協力ありがとうございました。昼休みに体育館で募金とエコマーケットを行いました。



入り口で募金をしました



古紙回収もお金にかえて募金します



手作りバッジ大人気！



カンバッジどれにしようかな？



プラバンも売り切れました！



劇でオランウータンの救出をよびかけました



22日 NPO 法人 ボルネオ保全トラスト・ジャパンの青木さんに来校していただき、お話を聞きました。お話の後、募金を4年生が手わたしました。青木さんからは、子どもたちに「共生」という言葉を大切にしてほしいというお話がありました。

安行の自然について考えよう

熱帯雨林がなくなって、オランウータンの行き場がなくなるという問題は、そのまま安行の緑をどう守り育てていくかということにもつながります。子どもたちはオランウータンの問題を考えながら安行の自然についても考えました。

安行原自然の森では、今、ヒキガエルの産卵が始まりました。林にいるヒキガエルが一斉に水路や池におりてきて産卵を始めました。エコクラブで観察を続けていますが、夜、8時を過ぎるころにはフクロウが鳴いています。またタヌキのすがたも見かけました。わき水の水路にはオニヤンマのヤゴが育っています。安行でも残された自然を大切に守り育てていきましょう。